

2011年3月期 第3四半期 決算概要

2011年1月27日

テルモ株式会社

執行役員 経営企画室長
佐藤 慎次郎

目次

■ 決算概要

- － 決算概要
- － 売上高（地域別）
- － 売上高（事業セグメント別）
- － 第3四半期売上高のポイント
- － 粗利益率差異分析
- － 販管費
- － 2011年3月期通期業績予想・進捗

■ 第3四半期トピックス

1. 血管内イメージング事業
2. 米国TRI
3. 慢性期市場一半固形栄養食品

決算概要

(億円)

	10/3期 Q3累計	11/3期 Q3累計	増減率	為替影響 除く
売上高	2,389	2,442	2%	7%
粗利益	1,261 (52.8%)	1,272 (52.1%)	1%	7%
販管費	761 (31.9%)	791 (32.4%)	4%	8%
営業利益	500 (20.9%)	481 (19.7%)	-4%	4%
経常利益	504 (21.1%)	429 (17.6%)	-15%	
純利益	319 (13.3%)	275 (11.3%)	-14%	
期中平均レート	US\$ 94円 EUR 133円	87円 113円		

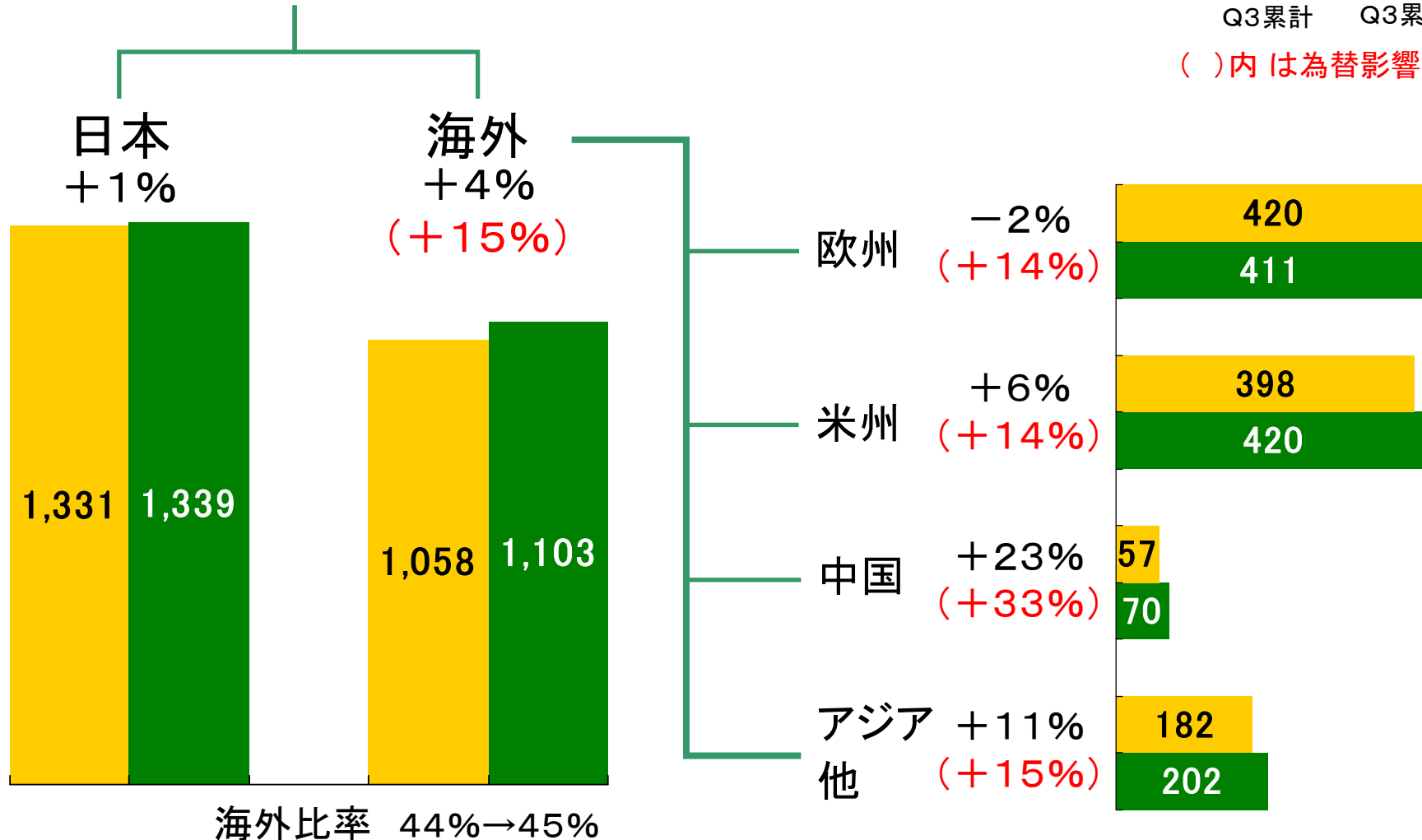
売上高（地域別）

(億円)

10/3期 11/3期
Q3累計 Q3累計

()内は為替影響除く

連結: +2% (+7%)

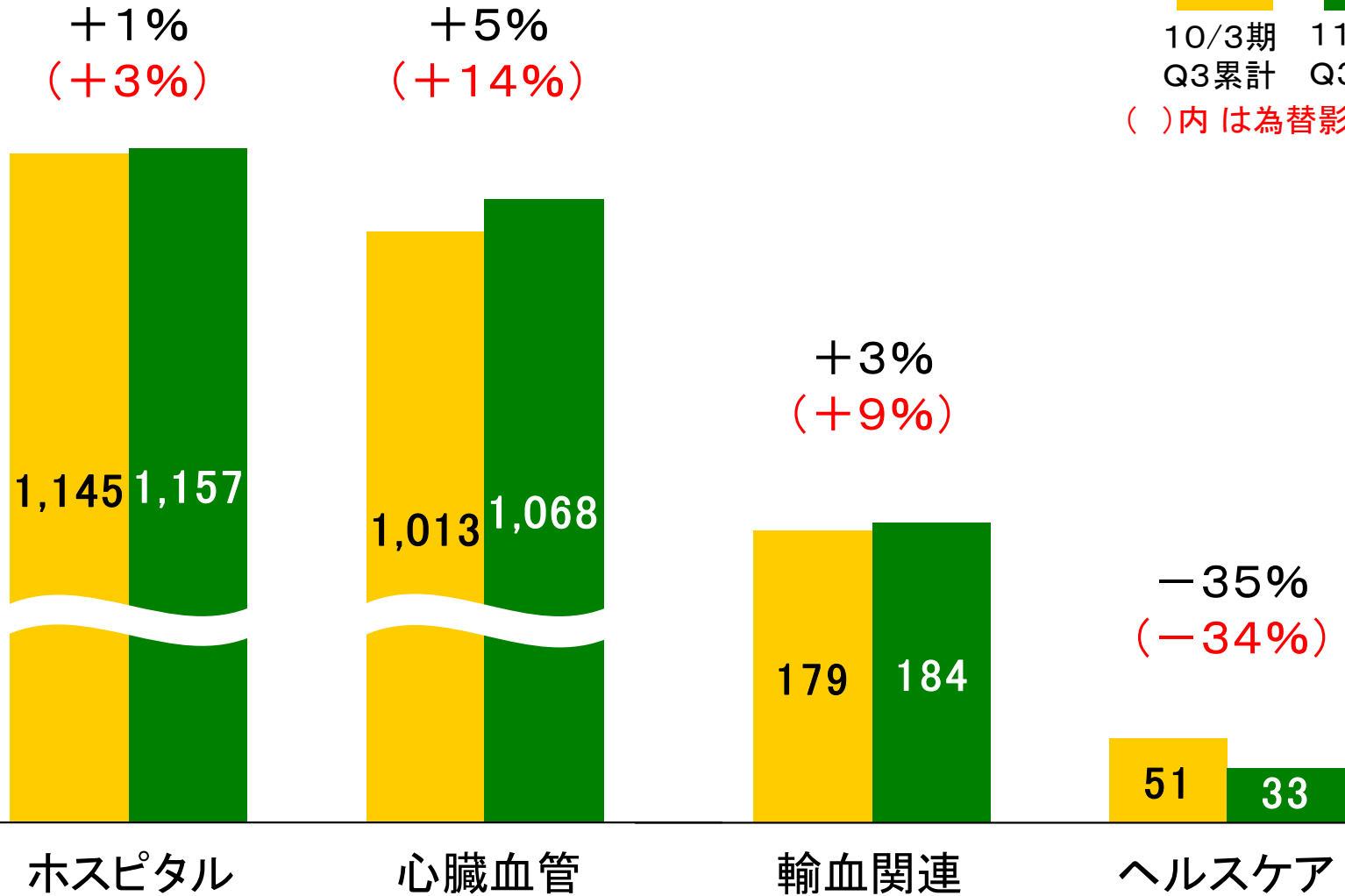


売上高（事業セグメント別）

(億円)

10/3期 11/3期
Q3累計 Q3累計

()内は為替影響除く



第3四半期売上高のポイント

%は前年同期比

■ 海外

- カテーテルシステムが各地で二桁伸長(為替影響除く)

欧州 23%、米州 22%、中国42%、アジア他 32%伸長

- ・ 薬剤溶出型ステント「Nobori」 122%伸長
- ・ 米国TRI関連商品* 3倍

*主に手首からカテーテルを挿入する手技で使用する商品:イントロデューサーキット、止血バンドなど

■ 国内

- 公定価下落の下、カテーテルシステムが2%伸長

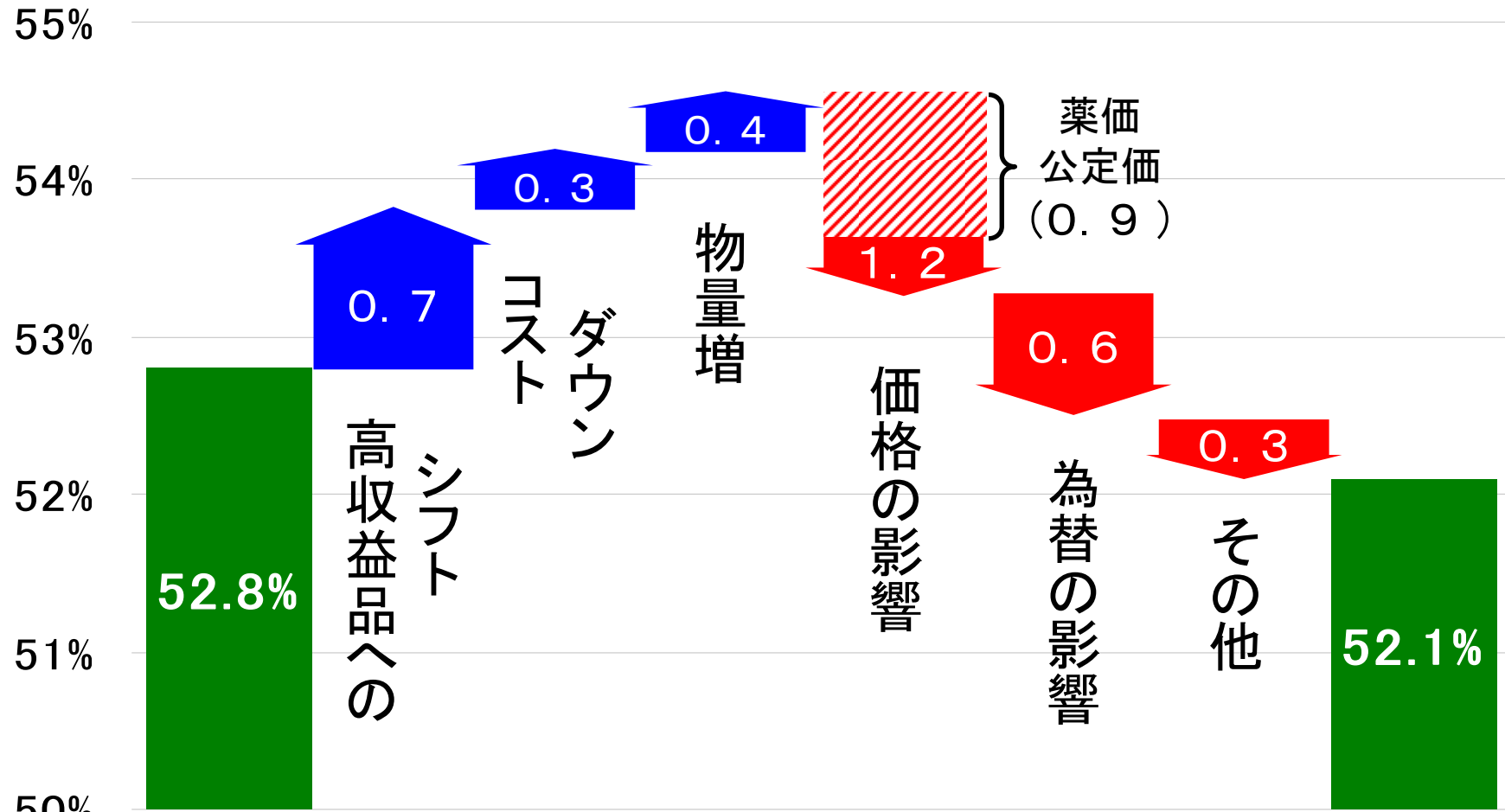
- ・ IVUS(血管内超音波画像診断)システムが好調 47%伸長

- 慢性期市場注力、半固形栄養食品が 29%伸長

- ヘルスケアは、昨年度の新型コロナによる特需の反動が残る

- ・ 活動量計など新商品発売により、Q毎の対前年比減少幅は縮小傾向

粗利益率差異分析



10/3期
Q3累計

期中平均レート	10/3期 Q3累計	11/3期 Q3累計
US \$:	94円	87円
EUR:	133円	113円

11/3期
Q3累計

販管費

(億円)

	10／3期 Q3累計	11／3期 Q3累計	増減	増減率
人件費	285	288	+3	+1%
販促費	80	77	-3	-4%
物流費	67	72	+5	+7%
償却費	38	34	-4	-10%
その他	165	175	+10	+7%
一般管理費計	635 (26.6%)	646 (26.5%)	+11	+2%
研究開発費	126 (5.3%)	145 (5.9%)	+19	+14%
販管費合計	761 (31.9%)	791 (32.4%)	+30	+4%

()内は対売上高%

2011年3月期通期業績予想・進捗

■ 通期予想は変更なし

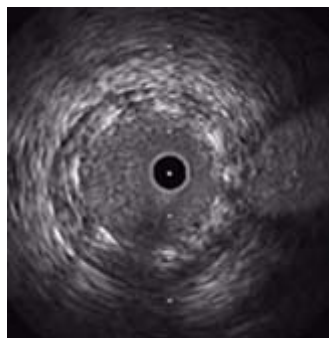
(億円)

	11/3期 通期予想	Q3累計 実績／進捗率	差額
売上高	3,260	2,442 75%	818
営業利益	633 (19.4%)	481 76%	152
経常利益	572 (17.5%)	429 75%	143
純利益	363 (11.1%)	275 76%	88
為替レート	US\$ 85円 EUR 113円	87円 113円	

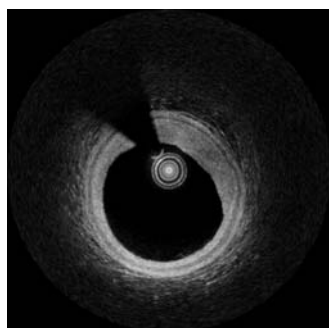
第3四半期 トピックス

1. 血管内イメージング事業
2. 米国TRI
3. 慢性期市場一半固形栄養食品

安心・効率的なカテーテル治療をサポート



IVUS画像



OFDI画像

- 血管の断面を測定
- ステントの選択、ステントの密着度を確認
- 信号の種類によって分類
 - 超音波・・・IVUS
 - 血管を深くまで見られるが、画質が粗い
 - 光・・・OFDI/OCT
 - 解像度は高いが、血管の見える範囲が浅い



コンソール・モニター



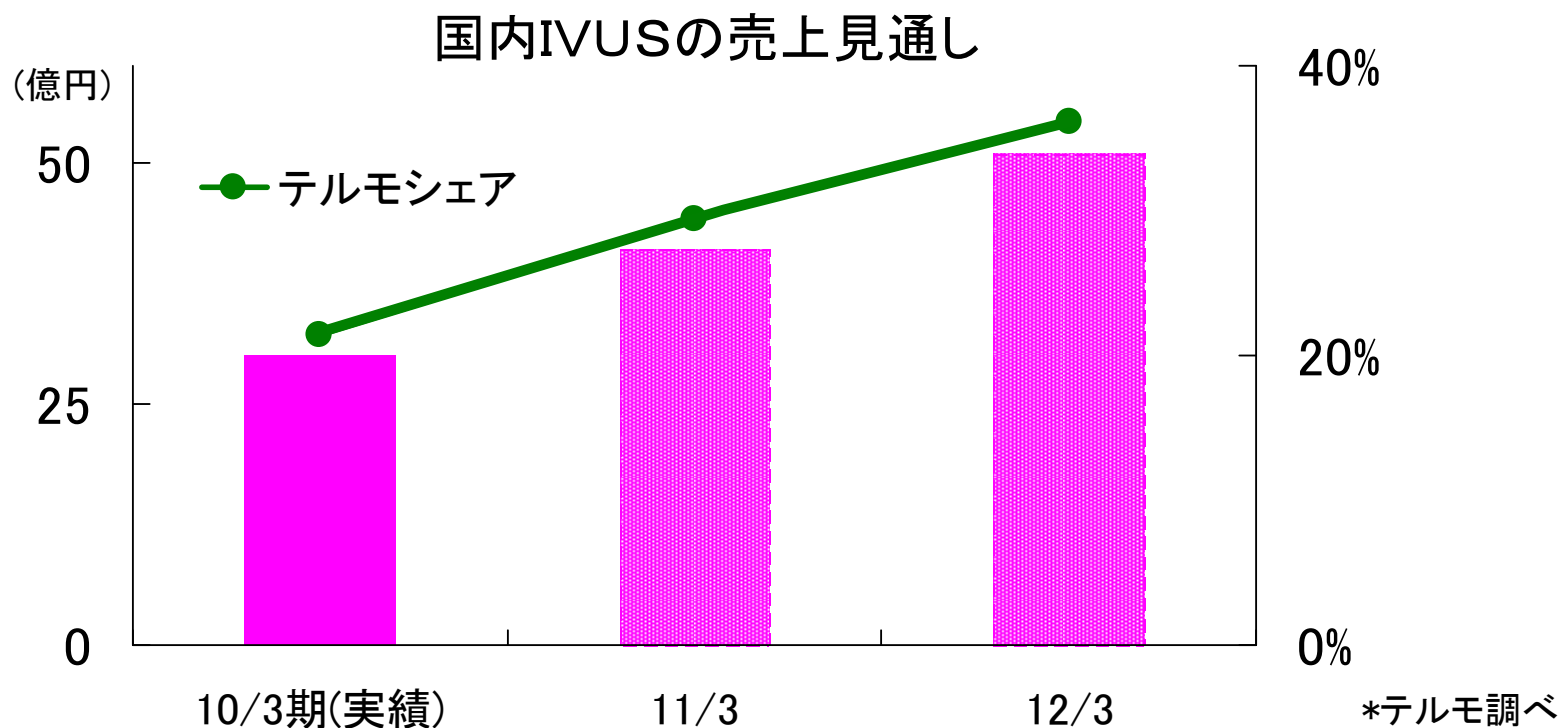
イメージング・カテーテル

IVUS: Intravascular Ultrasound, OFDI: Optical Frequency Domain Imaging, OCT: Optical Coherence Tomography

1.血管内イメージング事業

国内IVUS: 継続した改良で市場の評価が高まる

- 鮮明な画像の表示と分析を可能に
- IVUSカテーテルの通過性・操作性の向上



12年3月期 国内シェア36%、売上50億円を目指す

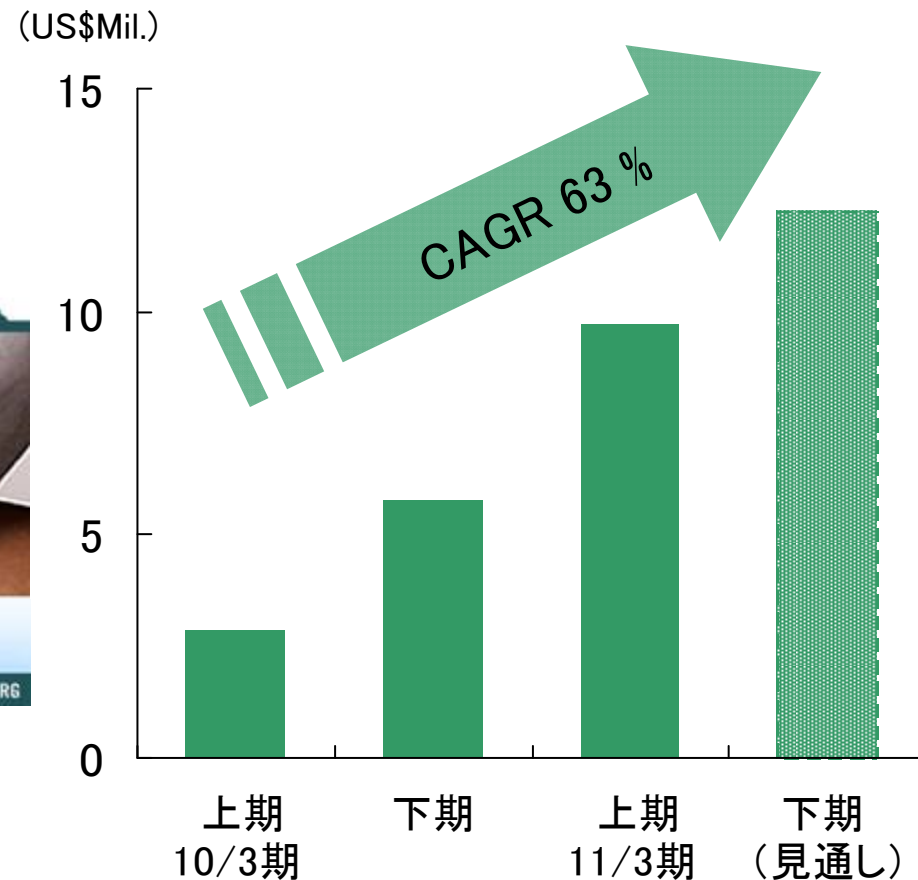
2. 米国TRIは順調に普及

- カテーテル治療に占めるTRIの割合は3%から8%へ

学会でシンポジウムを主催



米国TRI関連商品の売上高



経管栄養の現場

一般的な経管流動食品 注入の流れ(ボトルとチューブを使用)



準備



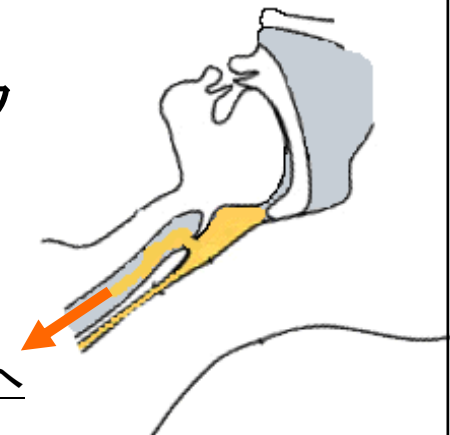
注入



洗浄・消毒

■ 液状の経管流動食品の課題

- 流動食品の胃・食道逆流による誤^{えん}嚥性肺炎のリスク
 - ・ 高齢で寝たきりの患者さんに多く発生しやすい
- 患者さんが増える中、作業に手間と時間がかかる
 - ・ 急性期から慢性期へ患者さんが増加



肺へ

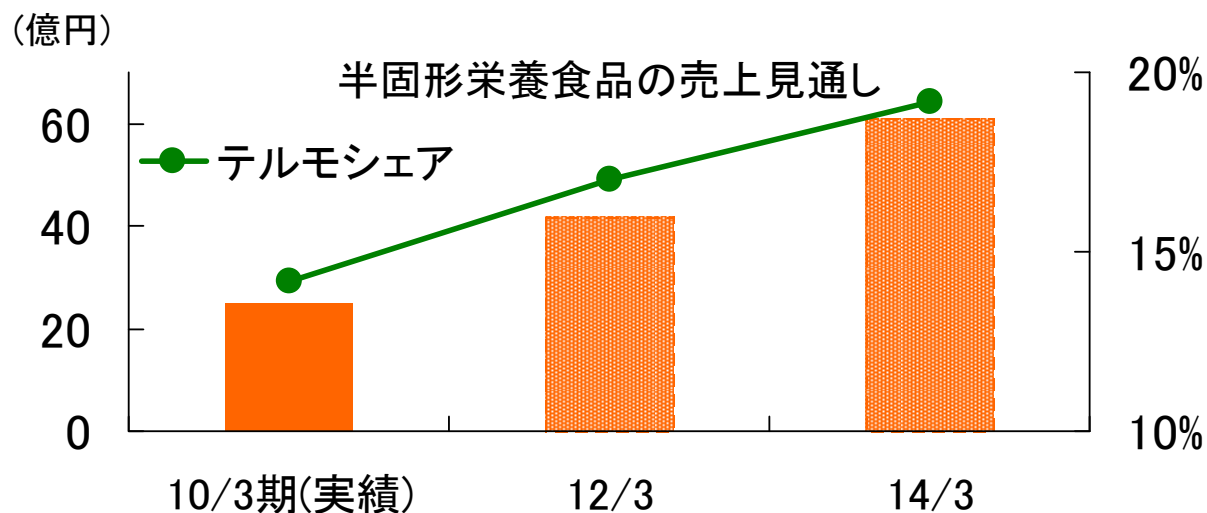
逆流して気道から肺に入る

3. 慢性期市場

日本発の高齢者医療 半固形栄養食品

■ テルモ商品の特徴

- 半固形で、逆流が起こりにくい
⇒ 誤嚥性肺炎^{えん}のリスクを低減
- 容器・器材がいらず、洗浄・消毒が不要
⇒ 作業時間を大幅に短縮



14年3月期に売上60億円を目指す

参考資料

決算概要 (四半期3ヶ月)

(億円)

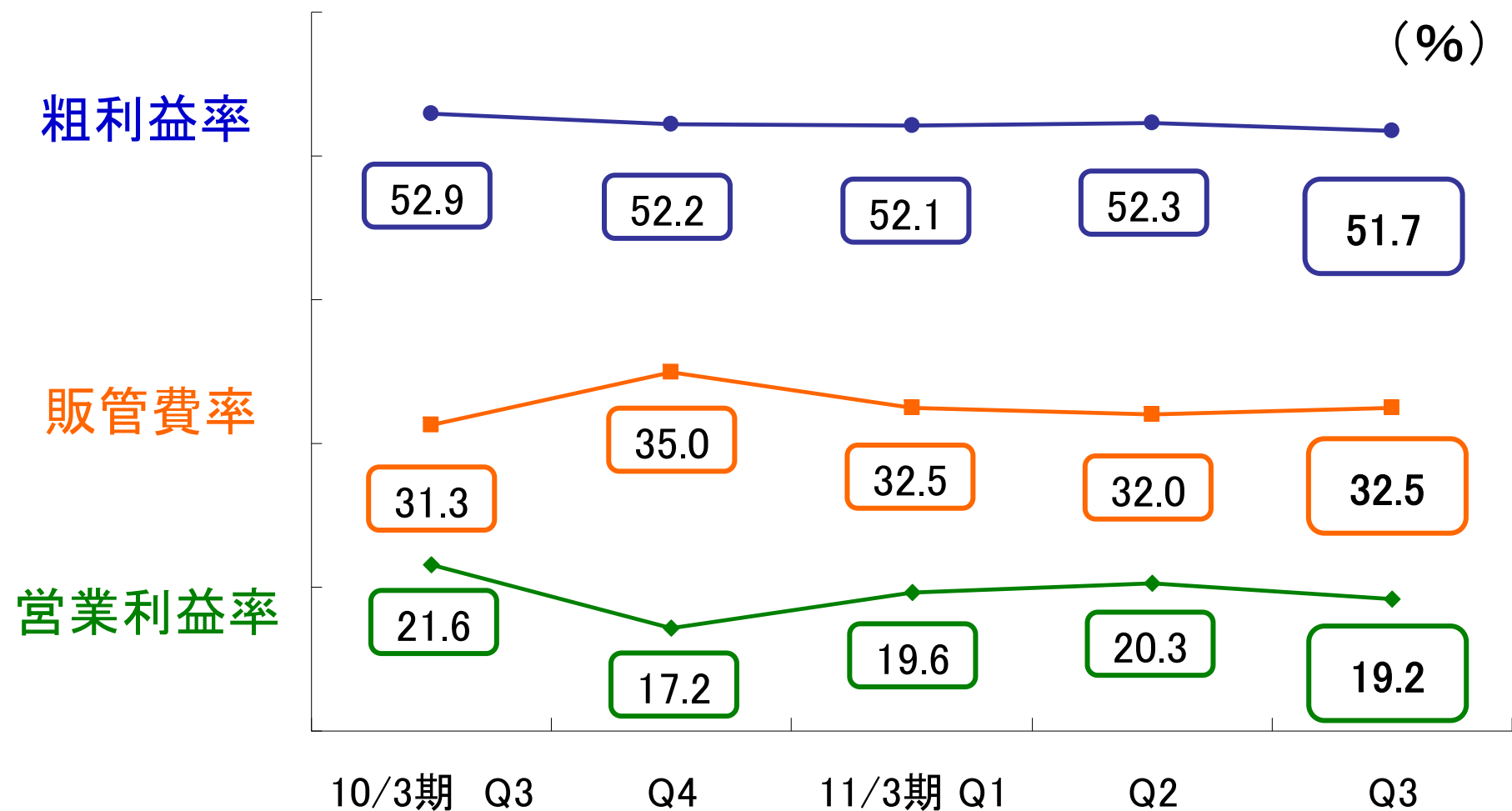
	10/3期 Q3	11/3期 Q3	増減率
売上高	808	803	-1%
粗利益	428 (52.9%)	416 (51.7%)	-3%
販管費	254 (31.3%)	262 (32.5%)	3%
営業利益	174 (21.6%)	154 (19.2%)	-12%
経常利益	181 (22.4%)	147 (18.3%)	-19%
純利益	111 (13.7%)	91 (11.4%)	-18%
期中平均レート	US\$ 90円 EUR 133円	83円 } 売上高 112円 } 5%影響	

11/3期Q3の決算概況 - 対下期見通し

(億円)

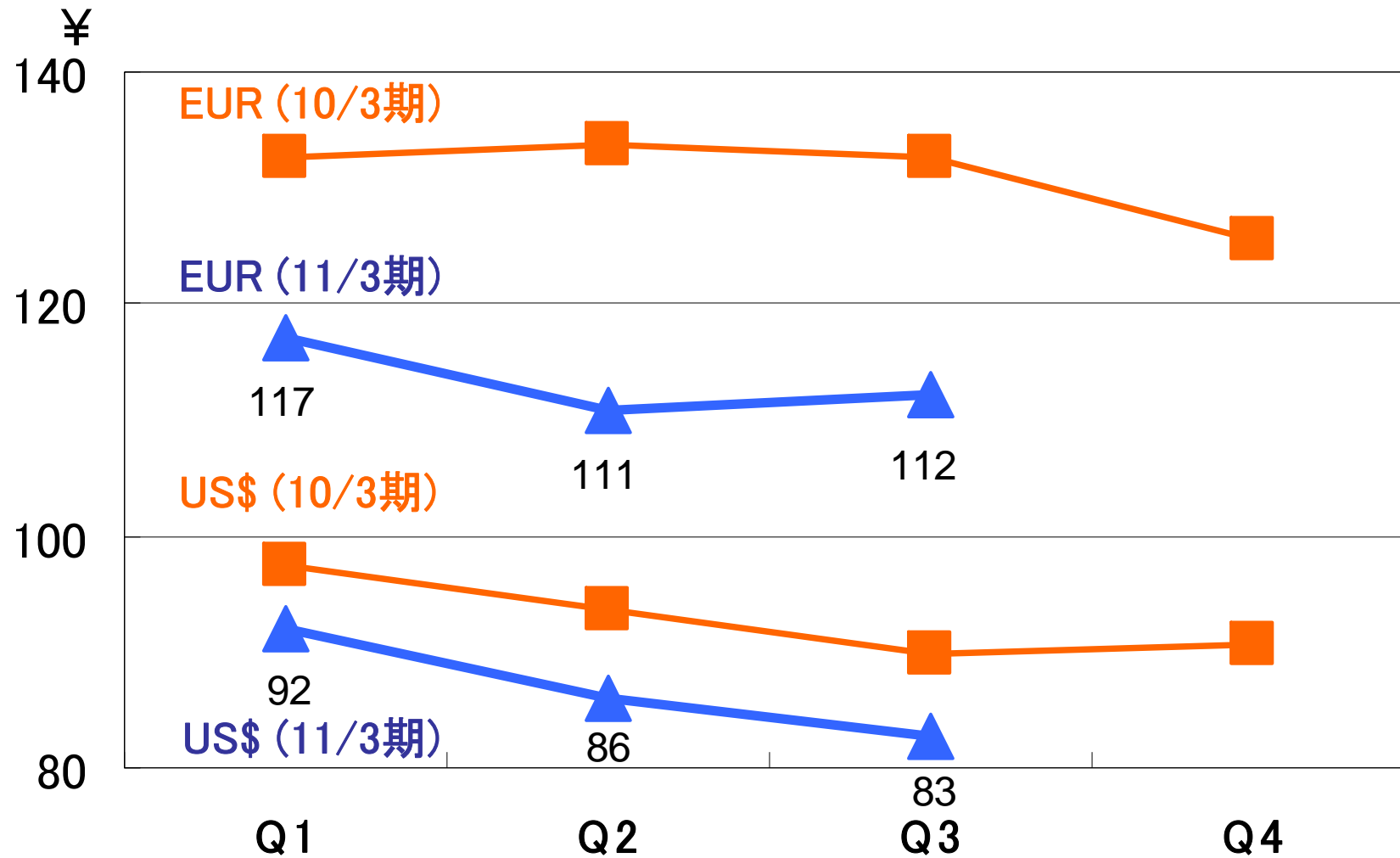
	<u>下期見通し</u>	<u>Q3(3ヶ月)</u>	<u>進捗率</u>	<u>為替影響</u>
売上高	1,621	803	50%	+6億円 (進捗率0.4%押上げ)
営業利益	306 (18.9%)	154 (19.2%)	50%	+2億円 (進捗率0.6%押上げ)
経常利益	290 (17.9%)	147 (18.3%)	51%	
純利益	179 (11.0%)	91 (11.4%)	51%	
為替レート(US\$)	80円	83円		
(EUR)	113円	112円		

粗利益率、販管費率、営業利益率



(各四半期の3ヶ月単位)

四半期平均為替レート推移



(各四半期ごとの期中平均レート)

《おことわり》

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。